

# グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール [shikoku\\_soumu@rinya.maff.go.jp](mailto:shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp)



四国山の日

No.1134 2014年9月号

## 第40回四国林政連絡協議会

9月10日、徳島県庁において、四国林政連絡協議会を開催しました。

【詳細は2頁】



四国林政連絡協議会（浅川局長挨拶）



第40回四国林政連絡協議会



九月一日、徳島県庁において、四国各県の林務担当部局、(独)森林総合研究所四国支所、同林木育種センター関西育種場、同森林農地整備センター中国四



国整備局参加のもと、林野庁から担当官の出席を得て第四〇回四国林政連絡協議会を開催しました。開会にあたり協議会会長の浅川森林管理局長から「国有林野事業は昨年度から一般会計化となり二年目をむかえ、民有林を含めた林業全体の活性化や成長産業化の推進を考えているところです。本日は各機関の取組や研究成果を紹介いただき、活発な意見交換ができれば幸いです。」と挨拶

次に開催県である徳島県の河口林業飛躍局長と林野庁計画課齋藤企画班担当課長補佐から挨拶がありました。

続いて、「四国山の日賞」選定団体の報告、林野庁から森林・林業・木材産業を巡る最近の動きについての説明が行われました。その後、各機関から新規就業者対策、公共建築物等における木材利用の推進等の取組状況や、森林総合研究所における各種研究事例や国有林との連携の状況について説明があり、これらの説明に関して各機関からは活発な意見や要望が出され、有意義な意見交換が行われました。



四国山の日賞選考委員会

「四国山の日賞」は、四国四県と四国森林管理局との間で締結した「四国の森づくりに関する共同宣言」(平成一六年)の趣旨に沿って、四国の森林等をフィールドとして四国の森づくり活動(「森林整備の推進」、「木材の利用推進」及び「森林環境教育活動の推進」)に積極的に取り組んでいる団体を選定し、表彰するものです。

今年度の募集に対しては、四国四県から九団体は応募があり、八月二二日、林業関係者、環境教育関係者やマスコミ関係者等からなる「四国山の日賞選考委

員会」において、厳正かつ

公正な審査を行い、六団体

(森林整備分野二団体、木材

利用分野一団体、森林環境

教育分野三団体)を四国山

の日賞として選考し、九月

一〇日の四国林政連絡協議

会において決定されました。

なお、表彰式は、一〇月

七日、四国森林管理局にお

いて行います。

受賞団体は、

多面的機能の発揮に向けた

森林整備の推進部門

●新谷公益会

●【愛媛県】東かがわ市北山森林ボラ

ンティア会

●【香川県】

木材の利用推進部門

●四万十町森林組合(大正

集成材工場)

●【高知県】

森林環境教育活動の推進部門

●香美市立大枋中学校

●【高知県】

●愛媛木材青年協議会

●【愛媛県】

●もっこり倶楽部

●【徳島県】

各受賞団体の活動状況、

選定理由については、四国

森林管理局ホームページ

「平成二六年度 四国山の

日賞決定」をご覧ください。

<http://www.rinya.naff.go.jp/shikoku/sidou/20140916.html>

shikoku/sidou/20140916.html

## 『夏休み森林環境教育』開催

〈技術普及課〉

七月二三日から高知市内

ラブ一四カ所から講師派遣

の浦戸ふれあいセンター

依頼があり、小学生及び保

を皮切りに、ふれあいセン

護者約八〇〇名を対象に八

ター八カ所、放課後児童ク

月二八日までの夏休み期

間、森林環境教

育として、森林

教室を実施しま

した。

今年、子ど

もたちに、より

森林への理解を

深めてもらうた

めにはどうした

らいいか、とい

うことで、事前

に小学校の校長を務められ

ていた方に、異学年に話を

するための方法を伺い、

大切な言葉等をパネルにし

たり、クイズ形式にしてみ

たり、自分たちなりに工夫

してみました。

ほとんどの児童クラブ

が、昨年、森林教室を実施

した所であったため、一・

三年生は森林の働きなどを

覚えてくれていて、発言し

てくれる子どもたちがた

くさんいました。一年生に

は、難しい言葉もありまし

たが、パネルなどで目で見

て理解してもらえたのでは

ないかと思えます。

木工教室でも、児童クラ

ブに関しては、一年生は



児童クラブ 森林教室

「昆虫採集」などの比較的簡単に作れるものを、三年生には「コロコロゲーム」などのような色をたくさん使うものをと学年によって作る作品を変えることを提案してみると、ほとんどのクラブがそれを希望されました。アンケートの回答でも、「学年にあった作品が作れてよかった。」と好評をいただきました。

こちらのしても、皆が慌てずに完成させてくれ、時間のめどがつくなどメリットもあります。この夏休み期間中に、たくさんの児童、先生、保護者の方に森林教室等を実施しました。「木工作品は夏休みの宿題にする。」と言う

また、高知市教育委員会が主催した各ふれあいセンターの「親子夏休み木工教室」では、「森の妖精貯金箱」に人気を集めました。のこぎりや、ナイフを使い小枝等を加工するのに苦労していましたが、刃物を使ういい機会になったと思います。

が、中には「今日はお母さんの誕生日だからプレゼントにする。」などの嬉しい返事もありました。森林の働きを学び、木の温もりに触れ、少しでも森林・林業に興味を持って頂き、森林の大切さを理解し、もっと身近に親しんでもらえたらと願っています。

今年例年になく、多くの子ども達が大半でした

う子ども達が大半でした



児童クラブ 作製中

が、中には「今日はお母さんの誕生日だからプレゼントにする。」などの嬉しい返事もありました。森林の働きを学び、木の温もりに触れ、少しでも森林・林業に興味を持って頂き、森林の大切さを理解し、もっと身近に親しんでもらえたらと願っています。



ふれあいセンター 森林教室



児童クラブ 作品



ふれあいセンター 作品



ふれあいセンター 作製中